資料２

「あまつなぎ」の多世代対応に向けた拡充　6,347千円

（重層的支援推進事業　令和7年度事業費　16,349千円）

No.40

所属：福祉局 重層的支援推進担当
包括支援担当

事業の内容

【背景・目的】

高齢化の進展にともない、ひきこもり状態やゴミ屋敷・多頭飼育問題状態にある方など、深刻化する事例が顕在化してきている。そうした事例の背景には、境界知能や発達障害がわからないまま大人になった方、被虐待経験から精神的な不安定さを抱えた方など、既存制度の対象となりにくい生きづらさを抱えた方がいる。こうした人々の中には医療が必要と考えられるものの、ひきこもり等で医療機関への受診が難しく、医療と介護・福祉が連携したアウトリーチ等が必要とされている。

【事業概要】

尼崎市医療・介護連携支援センター「あまつなぎ」を全世代に対応した医療と介護・福祉の連携支援の中核機関として機能強化を図る。

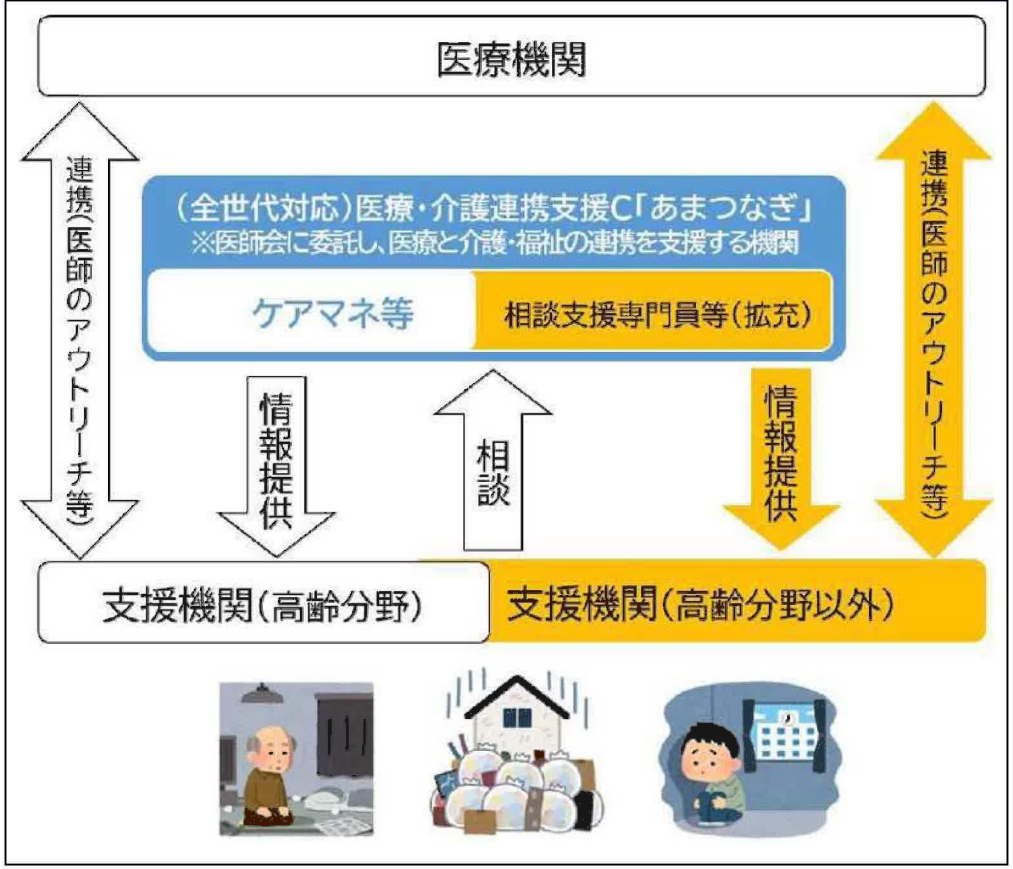
評価指標

【ｱｳﾄｶﾑ(成果指標)】「スムーズに支援の連携ができている」と考えている相談支援機関の割合 **【単位】**％ **【R9目標値】**50

【ｱｳﾄﾌﾟｯﾄ(活動指標)】医師等による医学的な相談支援や会議への参画件数 **【単位】**件 **【R9目標値】**12

医療と介護・福祉の連携が進むことで「スムーズに連携できている」と考える福祉分野の相談支援機関の割合を増やし、支援を必要とする人への包括的な相談支援の充実を図る。

事業イメージ



コミュニティファームにおける居場所づくり　4,131千円

（重層的支援推進事業　令和7年度事業費　16,349千円）

No.41

所属：福祉局
重層的支援推進担当

事業の内容

【背景・目的】

ひきこもりや不登校のこども・若者、文化や言語の違い等で孤立する外国籍住民等の様々な生きづらさを抱えた人々が地域社会で活動する機会が少なく、そうした人々が活躍し、地域交流のできる居場所づくりが求められている。

そのため、そうした人々が安心し活躍できる居場所を作り、そこでの活動や交流を通して元気になり、地域活動の担い手や働き手として地域社会で活躍することを目的とする。

【事業概要】

地域の子どもから高齢者まで多様な世代が参画するコミュニティファームの運営団体と協働し、生活困窮者等の就農体験等や孤立しがちな外国籍住民、子ども・若者、高齢者等を対象とした地域交流イベントを実施することにより、社会的に孤立しがちな人々が地域社会で活躍する場所・機会を創出する。

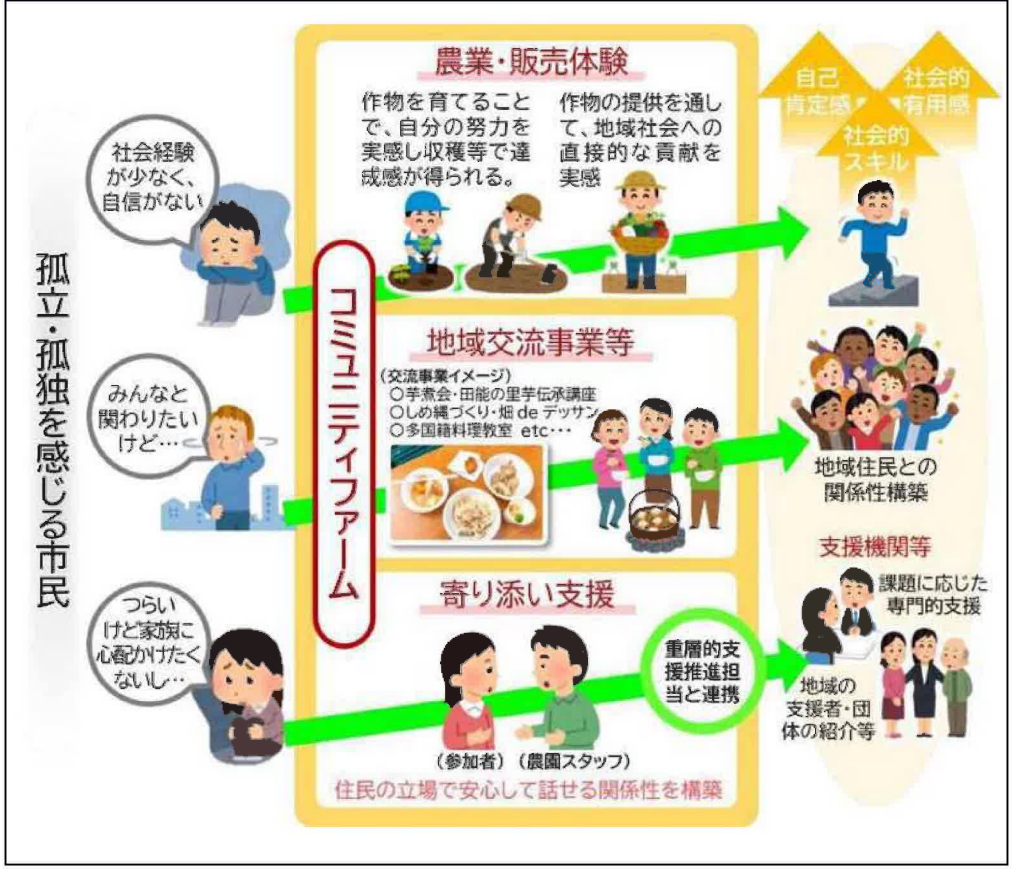
評価指標

【ｱｳﾄｶﾑ(成果指標)】コミュニティファームにおける地域交流事業及び就農体験の参画者の意欲や自己肯定感が向上した人の割合**【単位】**％ **【R9目標値】**80

【ｱｳﾄﾌﾟｯﾄ(活動指標)】コミュニティファームにおける地域交流事業及び就農体験の延べ参加人数**【単位】**人 **【R9目標値】**240

コミュニティファームでの活動を通して、孤独・孤立を感じる市民の社会参加意欲や自己肯定感等の向上を目指す。

事業イメージ



生活困窮者に対する住まい支援の強化　9,973千円

（生活困窮者自立相談支援事業　等　令和7年度事業費　32,448千円）

No.42

所属：福祉局 北部福祉相談支援課
南部福祉相談支援課

事業の内容

【背景・目的】

生活困窮者自立支援法の改正により、住まい・生活支援の相談への対応が法定化されたことに伴い、外国人や子育て世代を含めた多様な属性の生活困窮者への支援の充実が必要とされている。

【事業概要】

「住まい相談支援の強化」:包括的な相談支援、物件・不動産業者の開拓、不動産業者・支援関係者等からの相談対応を実施する。

「地域居住支援の強化」:入居に向けた同行支援、居住安定のための見守り等の支援を行う対応枠の拡充を行う。

「一時生活支援事業の実施」:365日受け入れ可能な施設を確保し、住居喪失者に一時的な住まいと衣食を提供する。

※参考…法定事業として「住居確保給付金の支給」を実施

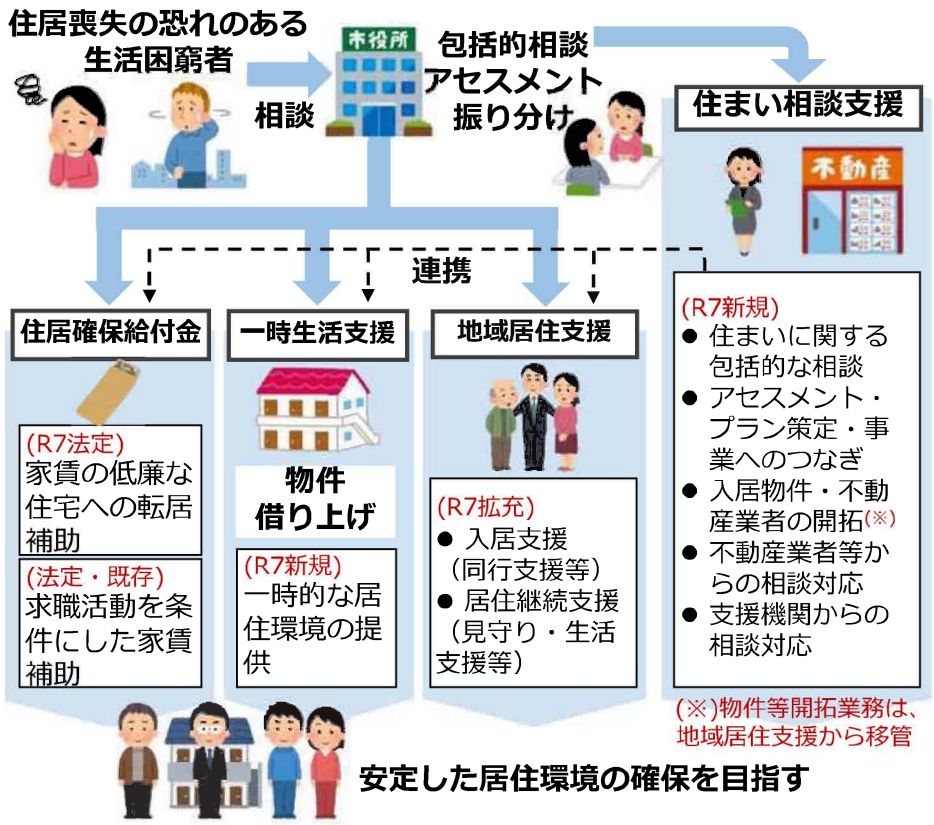
評価指標

【ｱｳﾄｶﾑ(成果指標)】安定的な住まいを確保した割合
【単位】％ **【R9目標値】**50

【ｱｳﾄﾌﾟｯﾄ(活動指標)】①住まい相談に対応した支援対象者数、②一時的な住まいを提供した支援対象者数 **【単位】**人 **【R9目標値】**①150、②24

住まいを喪失する恐れのあるまたは喪失した生活困窮者が安定した住まいを確保することで、経済的自立、日常生活自立、社会生活自立につながる。

事業イメージ



介護予防プログラムの推進　9,647千円

（フレイル改善通所プログラム事業、高齢者運動習慣促進事業　令和7年度事業費　9,647千円）

No.45

所属：福祉局
高齢介護課

事業の内容

【背景・目的】

増加傾向にある要支援・要介護認定者数を背景に、更なる介護予防対策として、介護が必要となる前の段階から運動を意識し、自発的な介護予防対策の実践に繋がる取組を推進する。
※"生き生き!!あま咲きプラン"に掲げる、健康ふれあい体育館での「運動」に視点を置いた新たな介護予防事業の展開

【事業概要】

武庫健康ふれあい体育館において、生活機能が低下した高齢者等を対象に、リハビリ専門職等が提供する機能回復プログラムや民間スポーツクラブが提供するレッスン等を実施する。

また、市が指定するスポーツクラブの利用に対して、その費用の一部を助成し、高齢者の運動習慣の定着を促進する。

評価指標

【ｱｳﾄｶﾑ(成果指標)】事業2の修了者のうち、事業参加前と比較して、運動機能に改善があった人の割合**【単位】**％**【R9目標値】**100

【ｱｳﾄﾌﾟｯﾄ(活動指標)】事業1から事業2へ移行する参加者数
【単位】人**【R9目標値】**24

高齢者施策の代表指標の1つである「自分が健康であると感じている高齢者の割合」の増加に寄与する指標として設定する。

事業イメージ

対象者

<事業1>
要支援1,2又は未認定者のうち生活機能の低下が見られる高齢者

<事業2>
・事業1の修了者
・要支援・要介護の認定を受けていない高齢者

高齢者生きがい就労事業の本格実施　7,209千円

（高齢者生きがい就労事業　令和7年度事業費　25,776千円）

No.46

所属：福祉局
高齢介護課

事業の内容

【背景・目的】

高齢者の生きがい就労（介護予防、フレイル対策に資する就労的活動）を市内に広げることにより、「生きがい創出」・「社会参加の促進」につなげていくとともに、地域活動の担い手創出にもつなげていく。

【事業概要】

介護予防・フレイル対策の取組として、生きがい就労を提供できる民間企業と就労的活動を行いたい高齢者とのマッチング等を実施し、個人の特性や希望に合った生きがい就労をコーディネートする。令和7年度からの本格実施に向け、拠点や人員を増やすことにより、更なる事業拡大を図る。

評価指標

【ｱｳﾄｶﾑ(成果指標)】
事業参加者のうち生きがいがあると感じる（思う）人の割合
【単位】％ **【R9目標値】**100

【ｱｳﾄﾌﾟｯﾄ(活動指標)】事業参加者数
【単位】人 **【R9目標値】**360

高齢者の「生きがい創出」・「社会参加の促進」のための一つのツールとして、高齢者の生きがい就労を推進し、介護予防・フレイル対策につなげていく。

事業イメージ

令和4年度～令和6年度をモデル期間として、市内2か所の老人福祉工場（はたらくラボ）での生きがい就労や、地域の高齢者への生活支援を行う支え合い活動の団体立ち上げ支援等を行ってきた。令和7年度より、拠点の増や就労的活動支援コーディネーター等の増員を行うことで、高齢者の「はたらく」といったニーズへの対応を行うとともに、更なる「生きがい創出」・「社会参加の促進」を図る。